

第4表 かながきの例

可	不	可	不	可	不
あいまって	相俟って	くふう	工夫	(する)とき	(する)時
あえて	敢て	…くらい	位	どこ	何処
あたかも	恰も	ぐあい	具合, 工合	どの, どれ	何の
あと	後	ここ	此处, 茲, 爰	…ところ	所, 処
あまりに	余りに	…こと	事	とても	迎も
当たる, 当てる	当る, 充る	ことさら	殊更	とりあえず	取敢えず
あらかじめ	予め	ことに	殊に	ともに	共に
あらゆる	凡, 総, 凡有	この, これ	此, 是, 之	ないし	乃至
ある	在る, 有る	ころ	頃	なお	尚, 猶
あるいは	或は	ごとく	如く	なかなか	仲々, 却々
あわせて	併せて	ごとに	毎に	ながら	乍ら
…(と)いう	…(と)言う, … (と)云う	ささえる	支える	なぜ	何故
いかん, いかなる	如何(なる), (に)	さしあたり	差支	など, ら	等, 杯
いかに	…(して)行く	さしつつかえ	差支	ならびに	並びに
…(して)いく, ゆく	…(して)行く	さっそく	早速	なるべく	成可
いくぶん	幾分	さほど	左程	なるほど	成程
いずれ	何れ, 孰れ, いづれ	さまざま	様々	(し)にくい	…(し)難い
いたずらに	徒に	しいて	強いて	はいる	入る
…(して)いただく	…(して)頂く, 戴く	しかし	併し, 然し	はなはだ	甚だ
いたって……	至つて	しかしながら	然乍	ばかり	許り, 計
いちいち	一々	しかも	然も, 而も	ひいて	延いて, 惹いて
いちばん	一番	しきりに	頻りに	ひとつおり	一通り
いつ	何時	したがって	従つて	ページ	頁
いっさい	一切	しだいに	次第に	ほう(の), (する)	方(の), (する)
いっしょに	一諸に	しばしば	屢々, 屢次	ほう	方
いっせいに	一斉に	しばらく	暫く	ほかに	外に, 他に
いっそう	一層	しまう	了, 終, 仕舞う	ほとんど	殆んど
いったい	一体	じきに	直に	ほど	程
いったん	一旦	十分に	充分に	ほぼ	略々
いっばいに	一杯に	…(し)すぎる	…(し)過ぎる	まことに	誠に
いっぺんに	一偏に	すこぶる	頗る	まして	況して
いまだ, まだ	未だ	すなおち	即ち, 則, 乃	ますます	益々
いよいよ	愈々	すばやい	素早い	また	又, 亦, 復
…(して)いる, おる	居る	すみて	凡, 総, 全	まちがい	間違い
いろいろの	色々の	すみやかに	速やかに	まで	迄
いわゆる	所謂	ずいぶん	為	ま	假
…(の)うち	…(の)中	ずつ	随分	みなす	看(做す)
…(し)うる	…(し)得る	ぜひ	宛	むしろ	寧ろ
うんぬん	云々	そこ	是非	むずかしい, むつ	六ヶ敷い
おいて	於て	その, それ	其処	かしい	明瞭
おおむね	概ね	それぞれ	其, 夫	明りよう	若し
おおよそ	大凡, 大約	…(し)たい	夫々	もし	齎す
…(して)おく	…(して)置く	たいせつ	…(し)度い	もたらす	勿論
おそい	遅い, 晚い	たいてい	大切	もちろん	有つて
おそらく	恐らく	たいへん	大抵	もつて	以つて
おのおの	各々	たくさん	大要	もっぱら	専ら
おのずから	自ら	ただ	沢山	もとに	下に, 許に
おもな	主	ただし	唯, 只, 暫, 惟	もとより	元, 素, 固より
おもむろに	徐に	たとえ	但し	もはや	最早
および	及び	たまたま	忽ち	…(し)やすい	…(し)易い
…(した)おり, …	…(した), (の)	ため	例えば	やっかい	厄介
(の)おり	折	だいたい	偶々, 会々	やはり	矢張り
かえって	却て	だいぶん	為	やむをえず	不得已, 止
かかる, かくして	斯る, 斯して	だけ	大体	やや	稍
かかわらず	拘らず	だれ	大分	ややもすれば	動もすれば
かたい	硬い	だんだん	丈	ゆえに	故に
かつ	且	ちなみに	誰々	ゆえん	所以
かつこう	恰好	ちょうど	段みに	よい	好い, 良い
かつて	曾て, 嘗て	ちょっと	丁度, 恰度	ようす	様子, 容子
かつてに	勝手に	ついて	一寸, 鳥渡	ように	様に
かなり	勝手に	ついで	就て, 付いて	ようやく	漸く
かねがね	可成	ついに	遂に	よく	克く, 能く
かねて	兼々	つもり	積り, 心算	よほど	余程
かまわない	予て	ていねい	丁寧	よって, よる	依, 由, 因, 拠
かりに	構わない	とうてい	到底	りっぱ	立派
かわく	乾く	…(の)とおり	…(の)通り	わかる	分, 判, 解る
きたす	来す	とかく, とにかく	兎角	わが	我が, 吾が
きわめて	極めて	とき(の)	時(の)	わざわざ	態々
				わたって	亘つて, 渡つて